

### 授業概要

人間文化学科の学生がどの領域においても必要とする、リベラルアーツの基本を平易な英語で理解することにより、それぞれの専攻する分野で必要となるより高いレベルの英語に進むための基本を養成する。基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学びながら教養を深め、多様な分野に関心を持てるようにする。

### 授業計画

第1回	春期の履修内容の確認
第2回	英語で測ってみる（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第3回	英語で測ってみる（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第4回	英語で健康と栄養を考える（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第5回	英語で健康と栄養を考える（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第6回	英語で地理学（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第7回	英語で地理学（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第8回	これまでのまとめと復習
第9回	英語で天気予報（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第10回	英語で天気予報（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第11回	英語で世界の問題を考える（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第12回	英語で世界の問題を考える（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第13回	英語で犯罪捜査（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第14回	英語で犯罪捜査（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第15回	これまでのまとめと復習
第16回	筆記試験

### 到達目標

人間文化学科のどの領域においても必要となる英語の基礎的学力を養成する。

### 履修上の注意

語学力の養成には繰り返しが必要である。語彙、表現を何度もノートに書き、繰り返し発音すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参すること。

### 予習復習

知らない語彙、表現は必ず辞書で調べてくること。授業中にとったノートを繰り返し読み直すこと。

### 評価方法

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを平常点とし、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

### テキスト

『英語で学ぶリベラル・アーツ』朝日出版社 上村淳子他 1800円（春期と同じ）

**授業概要**

小学校から英語教育が取り入れられ、さらには保育園や幼稚園でも一定レベルの英語力を持っていることが要請される時代となっている。保育園にインターンシップで参加した学生の体験を題材としたテキストを用いて、卒業後の進路選択のときにプラスとなる英語力の養成を目的とする。

**授業計画**

第1回	春期の履修内容の確認
第2回	英語でアクティビティ（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第3回	英語でアクティビティ（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第4回	英語で誕生日をお祝いする（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第5回	英語で誕生日をお祝いする（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第6回	英語で遊ぶ（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第7回	英語で遊ぶ（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第8回	これまでのまとめと復習
第9回	英語でおむつを交換する（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第10回	英語でおむつを交換する（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第11回	英語で歯磨き（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第12回	英語で歯磨き（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第13回	英語で上演（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第14回	英語で上演（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第15回	これまでのまとめと復習
第16回	筆記試験

**到達目標**

幼児教育あるいは小学校での英語教育に対応できる基礎的な英語力を養成する。

**履修上の注意**

教員として働くためには、資格だけではなく、能力が必要である。今後ますます英語教育が重視される教育現場に身を置くことになることを認識して、真面目に取り組んでもらいたい。授業には英和辞典（電子辞書でもよい）を持参すること。

**予習復習**

英和辞典を用いて語彙、表現を事前に調べておくこと。テキストには音声CDが付属しているので、予習復習として繰り返し聴き、発音を練習しておくこと。

**評価方法**

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを平常点とし、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

**テキスト**

『保育英語』成美堂 赤松直子 2400円（春期と同じ）

**授業概要**

大学生が商社に履歴書を送り、面接を受け、入社し、電話の対応をし、外国からの取引相手を空港で出迎え、観光案内をするまでの成長に合わせてビジネスに必要な語彙と表現を学ぶ。受講生が就職活動をするとき、さらには入社してから必須となる英語の知識を身につける。

**授業計画**

第1回	春期の履修内容の確認
第2回	英語で備品を確認しよう（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第3回	英語で備品を確認しよう（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第4回	英語で電話に出よう（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第5回	英語で電話に出よう（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第6回	英語で新製品を売り込もう（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第7回	英語で新製品を売り込もう（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第8回	これまでのまとめと復習
第9回	英語で社長をお出迎え（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第10回	英語で社長をお出迎え（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第11回	英語でビジネスランチ（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第12回	英語でビジネスランチへ（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第13回	英語で京都を案内しよう（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第14回	英語で京都を案内しよう（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第15回	これまでのまとめと復習
第16回	筆記試験

**到達目標**

ビジネスのさまざまな場面で用いられる英語の語彙と表現を習得する。

**履修上の注意**

語彙や表現の習得にはノートに英語・英文を繰り返し書くこと。会話にも力点を置くので、物おしせず、面倒がらずにはっきりと発声すること。授業には英和辞典（電子辞書でもよい）を持参すること。

**予習復習**

授業で扱う箇所をあらかじめ指定するので、辞書を用いて語彙などを調べておくこと。随時小テストなどを行うので、復習にも役立ててもらいたい。

**評価方法**

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを平常点とし、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

**テキスト**

『やさしいオフィス英語』成美堂 城由紀子他 1800円（春期と同じ）

**授業概要**

この授業は、これまで培ってきた英語の基礎力の確認、苦手分野の補強をして、大学での英語の学習をする上での土台となる英語力を養成する再履修科目である。

各単元では、基本的な文法事項を確認し、その文法項目を含んだ会話文を学習することによって、これまでの英語の力を補強し、英語の基礎力向上を目指す。

**授業計画**

テキストの項目に沿って、以下の文法事項を学習する予定である。なお、授業の進捗により学習内容に変更が加えられることがある。

第1回	イントロダクション：授業の概要、成績の評価方法などの説明
第2回	Unit 8 助動詞：文法項目のチェック
第3回	Unit 8 助動詞：会話
第4回	Unit 9 to不定詞・動名詞：文法項目のチェック
第5回	Unit 9 to不定詞・動名詞：会話
第6回	Unit 10 現在完了：文法項目のチェック
第7回	Unit 10 現在完了：会話
第8回	中間試験、これまでのまとめ
第9回	Unit 11 接続詞：文法項目のチェック
第10回	Unit 11 接続詞：会話
第11回	Unit 12 比較：文法項目のチェック
第12回	Unit 12 比較：会話
第13回	Unit 13 受動態：文法項目のチェック
第14回	Unit 13 受動態：会話
第15回	これまでのまとめ
第16回	定期試験（筆記試験）

**到達目標**

英語の基礎力を身につけ、今後の大学で英語を学習するための力を養うことを到達目標とする。

**履修上の注意**

授業には必ずテキスト、ノート、英和辞典を持参すること。持参しなければ出席とはみなさない。なぜこの再履修科目を履修しなければならなくなったのか、各自振り返った上で、この授業に臨んでいただきたい。

**予習復習**

英語の基礎力を身につけるために、毎回予習、復習をかならず行うこと。予習、復習を怠らなければ、英語の力は確実に向上していくはずである。

**評価方法**

提出物（35点）、筆記試験（中間試験、定期試験）（65点）によって総合的に評価する。詳しい評価方法については初回の授業で説明するので必ず出席のこと。なお、定期試験ではリスニングという形式で問題を出題することはない。

**テキスト**

Robert Hickling, 臼倉美里 *English First Basic*（金星堂）